

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



CONTENTS

- | | |
|--------------------------|---|
| ■ 表紙1 | ■ ガバナー補佐 ご挨拶 5~6 |
| ■ 平澤ガバナー メッセージ2 | ■ ガバナー・ガバナーエレクト・地区役員・ガバナー補佐・地区委員長 ご紹介 7 |
| ■ 国際ロータリー会長 メッセージ3 | ■ 大館RC60周年報告、秋田西RC20周年報告 8 |
| ■ 宮下直前ガバナー メッセージ4 | ■ ロータリーの友7月号の情報、新会員紹介、PHF・MPHF・米山寄付者紹介、物故者情報9 |
| | ■ 7月のRIレート、文庫通信10 |

いよいよ新年度が始まります

国際ロータリー会長ジョン・ジャーム氏は2016-2017年度テーマを「SERVING HUMANITY」（人類に奉仕するロータリー）と発表しました。その内容は次のページに掲載されております。

会長のお話は、例年に比べると少し趣が異なるように感じます。その中に、『私たちが目指すのは単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーにより善き活動をより多く実現させ、将来ロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。』とあります。私共の2540地区は1,100名というひとつの守るべき会員枠がございます。ジョン・ジャーム会長のこの言葉と私達が目指す会員増強とは決して矛盾するものではありません。むしろこの会長の言葉こそが会員増強の糧となると考えております。

2540地区は国内では最小規模ですが、人口比率からみれば決して卑下する会員数ではありません。規模が小さくとも応分の活動はできるはずで、そして同時に、規模の大小ではなく、充実した活動ができているかどうかは常に検証しておく必要があると思います。

『一緒に考えよう ロータリーを』を地区の目標に致しました。私自身を含めてロータリアンは、ロータリーがどういう事をしているか、全てとは言わなくても、ある程度でも理解できて

いるだろうか?と思う事がございます。「国際ロータリーとはどのような活動をしているのか?」「国内の他地区はどのような活動をしているのか?」といった疑問にもお応えし、具体的な活動内容をご紹介する事を柱のひとつとして、1年間の務めを果たしたいと考えております。それが地区の奉仕活動の活性化につながり、会員増につながると考えております。

また、今年度はロータリー財団100周年の記念すべき年となっております。ゼロクラブを無くす事と、前年比105%の寄付を目標に掲げておりますので宜しくお願い致します。

7月から2016-2017年度が始まります。微力ながらガバナーとして誠心誠意取り組ませて頂きます。ご協力、ご指導を切にお願い申し上げますとともに、「一緒に考えようロータリーを」へ向けて、皆さまと一緒にスタートラインに着きたいと存じます。



Hirasawa Takao

2016-2017年度ガバナー 平澤孝夫

ROTARY SERVING HUMANITY = 人類に奉仕するロータリー



111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びとの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わ

えない貴重な経験をしてきました。毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつ

けてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RIのレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつぶっています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というのはありません」。いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになるとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて

A handwritten signature in cursive script that reads "John".

2016-2017年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

いよいよ 2016-2017 年度、当地区で言えば平澤孝夫ガバナー年度がスタートしました。2月20日、地区チーム研修セミナー、3月26日には会長エレクト研修セミナー（PETS）とステップを踏んで、5月22日地区研修・協議会と三段跳びで言えばホップ・ステップ・ジャンプを刻んできました。このステップを通じて地区方針が深められ、各委員会、委員長が決められ、いよいよスタートとなったのです。

平澤孝夫ガバナーは地区方針として「ロータリーを一緒に考える1年にしよう」を掲げています。2016-2017年度RI会長ジョン・F. ジャームのテーマが「人類に奉仕するロータリー」とロータリーの原点を謳ったものでありますが、ガバナーは会員がロータリーについて改めて考え、その思想を深め、行動する1年であってほしいと願ってこの地区テーマを掲げたものです。地区研修・協議会での平澤ガバナーは、国際協議会でのジョン・ジャーム会長のDVDを和訳の字幕を付けて流し、テーマに込められた心を参加者に伝えようとしていました。会長の父のポリオの話などそれは感動的なもので、平澤ガバナーの、自分が学んだものを地区にしっかり伝えたい、と言う熱意がよく表れていたと感じました。

この方針のもとに各クラブの会長・幹事さんには7月から大いなる夢をもって秋田県の未来のために活動を組んでいって頂きたいと願っています。

さて、私の年度方針のトップに掲げた「会員増強と退会防止」は目標とした1,150名には道半ばの状態ではありますが、5月末現在で1,138名とかなり近いところに参りました。6名のガバナー補佐各位、会員拡大増強委員会の桑原委員長はじめ委員各位、そして各クラブの会長・幹事さんに心からの御礼を申し上げます。年度末の退会者を極力抑えて7月1日には1,150名超えた数で平澤ガバナーにバトンタッチが出来ればと願っていますが、結果やいかに!?

また3年に1回開催されるRI規定審議会が4月10日～15日に掛けてシカゴで開催され、地区からは代表議員として玉木修パストガバナーが参加されました。ここではクラブ運営に関しても様々な変革が決定されております。それが進歩なのか、逸脱なのか、いずれにしても運営の自由度、柔軟性が広がったことは確かです。この変革が「運営要綱」に盛り込まれ、また各クラブの細則に反映されるのはこれからになると思いますが、改めて、クラブの歴史を振り返り、自クラブの特徴をつかんで発展させていただきたい。公式訪問などを通じて各クラブが素晴らしいものを持っていることを知ったからです。

この2年度、連続して秋田市内からガバナーが出ることとなり、地区の懸案、特に「地区運営規定」の時代に合った改正と各規程間の齟齬を正すチャンスでした。秋田東クラブが中心にこれに取り組み、何度かのガバナー事務所会議、諮問委員会を経て先日の地区研修・協議会で改正案が承認されました。これによって地区運営のルールもしっかり引かれたと考えます。このベースの上に、活発な奉仕活動を展開してゆくことを願っています。

新年度が、平澤孝夫ガバナーの下で、ロータリーを学び、考え、行動する輝かしい1年であることを願い、また地区の皆さんの平澤孝夫ガバナーへのご協力をお願いしまして、直前ガバナーのメッセージといたします。



Miyashita Masahiro

2015-2016年度ガバナー 宮下正弘

北区(大館・鹿角分区)

十和田秋田RC 八重樫 學

国際ロータリー第2540地区北区(大館・鹿角分区)の2016-2017年度ガバナー補佐になりました八重樫 學です。これから1年間よろしくお願ひします。私のロータリー歴はかれこれ30数年になりますがロータリーを楽しむことのみで過ごしてまいりました。最初は秋田北RC、当社の本社移転に伴い現在の十和田秋田RC所属となっております。転入した頃の十和田秋田RCは世代交代というより高齢化のためクラブ会員の減少に歯止めがか

からない危機感がありましたが、現在は30人ほどのクラブになりました。年齢もかなり若くなりわたくしの感覚(年寄チック)としては大丈夫かなとも思えるくらいのガヤガヤRCですがこれこそ田舎の楽しいRCと思っております。ロータリーのことはなんでも知っているガバナー補佐ではありませんが(これから勉強)会員増強の楽しみをお伝えできたらと思っております。

北区(能代・男鹿分区)

男鹿RC 三浦 和信

この度、思いもよらず、ガバナー補佐就任の要請があり、お引き受け致しました。

ロータリー歴(2004年入会)もまだ浅く、知識や経験の不足は覆うべくも無いですが、地区役員の方々、先輩の皆様、各クラブ会員からのご教示を信じ、一年間補佐の大役を頑張っていきたいと思っております。

平澤ガバナーの地区方針、強調事項を各クラブに伝えるため、クラブ間の交流、活性化。そして担当クラブの悩

み、疑問について平澤ガバナーとのパイプ役として、微力ではありますがお役に立てばと考えております。

最後に、担当クラブと会員の皆様、クラブ訪問の際は心温かく迎えていただきます様、お願ひ申し上げます。

中区(秋田分区)

秋田北RC 三浦 潔

秋田北ロータリークラブに入会して20年。2009-2010年度には会長も経験させていただき、以後お休みモードに入っておりましたが、この度平澤ガバナーの下で、ガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。

ある方(ロータリアンです)に、「ガバナー補佐をやることになりましたが、初めての経験なので、何をどうしたらよいか、よくわかりません」と申し上げたところ、破顔一笑「三浦さん、ガバナー補佐を何回もやる人はなかなか

いませんよ。」

そうか！

私なりに考えてみますと、ガバナー補佐のお役目は「御用聞き」。平澤ガバナーの方針を各クラブにお伝えし、逆にクラブの要望や困っている事をガバナーにお伝える「御用聞き」として一年間務めさせていただきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

中区(本荘・由利分区)

矢島RC 佐藤 成孝

平成21年秋に入会以来、会員として未だ日も浅く、この度ガバナー補佐の大役を拝命する事となりました。

いたずらに馬齢を重ね、気がついてみれば既に「人生の総仕上げ」というステージに達しておりました。今後は、これまで戴いた多くのご恩を地域社会へ還元してゆくべきものと自戒しております。

仏教の大乗思想では「自利利他」を説きます。己の人間力の向上を目指すとともに他者の幸福と福祉のために尽

くす、あるいはまた経済活動で得た利益を慈善活用する、この事はロータリアンシップとも大いに符合するものです。

地域、地区、ひいては人類に対しロータリアンが遺すことが出来るものは何か、広く地区会員各位のご指導を仰ぎ、平澤ガバナーのもと研鑽を積んで参りたいと存じます。

南区(大曲・仙北分区)

田沢湖RC 田口 寿宜

田沢湖RCに入会してから6年、まだまだ若輩者の自分がまさかガバナー補佐の任をお引き受けするとは思ってもおりませんでした。平澤ガバナーの下、やるからには担当させて頂く分区の為、そして、2540地区の為に皆様のお力添えを頂きながら務めて行こうと色々計画を立てていた矢先に、父親が急病で4月に倒れ数月の入院生活を送る事になり、今までの流れが一変してしまいました。

正直、平澤ガバナー始め、多くの皆様にご迷惑をお掛け

する事になるであろうと思い、ガバナー補佐の任を辞退する旨の相談を各方面の方々にしておりました。しかし、逆に多くの励ましのお言葉を頂き、また、クラブの仲間からも皆でやっへ行こうという力強いお言葉を頂き、微力ではございますが、お引き受けする事と致しました。

状況的には100%は無理です。50%にも満たないかもしれませぬ。しかし、最低限の事は頑張っておりますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

南区(横手・湯沢分区)

横手東RC 高橋 富男

各クラブ会長・幹事と共にガバナー補佐の各研修セミナーで平澤孝夫ガバナーの方針を勉強させてもらい大変重大な役目をおおせつかって後悔してしまったのが第一印象でした。

ガバナー補佐として各クラブに平澤孝夫ガバナーの地区方針を伝えるのはもちろんの事、その中でも永遠のテーマでもあると思います会員増強の事と財団寄付ゼロクラブの事はよく話して御理解してもらえよう願って来たいと思います。

又、各クラブにガバナー補佐として何が出来るかと考

えた時に先ずはクラブの問題点などを伺い、ガバナー事務所に報告し、平澤ガバナーより解決策を指導してもらいフィードバックして行ければと思って居ります。

少しでも各クラブの為の架け橋になり、ガバナーが仕事のしやすい環境作りを一番のモットーに考えていきたい。ガバナー補佐の立場になれば考えも変わるとおもいますので、良い人生勉強をさせてもらえようと思ひ、名に恥じない様に頑張ります。

クラブ訪問の際は、宜しくお願い致します。



ガバナー
平澤 孝夫



ガバナーエレクト
柳谷 悦磨



地区幹事
船木 寛



地区会計長
木村 了



地区財務委員長
加藤 俊介



ガバナー補佐
八重樫 學



ガバナー補佐
三浦 和信



ガバナー補佐
三浦 潔



ガバナー補佐
佐藤 成孝



ガバナー補佐
田口 寿宜



ガバナー補佐
高橋 富男



会員拡大増強委員長
竹島 知憲



広報委員長
太田 聡



職業奉仕委員長
鈴木 充



社会奉仕委員長
鈴木 雅人



国際奉仕委員長
佐藤 裕之



インターアクト・ローターアクト委員長
安井 英章



青少年交換プログラム委員長
伊藤 茂樹



ロータリーの友委員長
佐野 公彦



地区大会委員長
藤井 明



ロータリー財団委員長
玉木 修



ロータリー米山記念奨学委員長
阿部 大助



ロータリー学友委員長
土田 博美



RI国際大会推進委員長
大門 一平

6月11日(土)大館RC創立60周年記念式典並びに祝賀会 開催報告

大館RC 実行委員長 平岡 為義



ホテルクラウンパレス秋北にて、宮下正弘ガバナー・福原淳嗣大館市長をはじめとして県外のロータリアンを含む約180名にご臨席いただき挙行了しました。

式典の前に記念事業として、大館市民文化会館にて『おおだてシニアファッションショー』と『講演会』を一般公開しました。ファッションショーはシニアを中心とし、大館桂桜高校の皆さんとのコラボレーション企画。講演会の講師は茨城県立健康プラザ管理者で「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」の考案者である大田仁史先生でした。他の記念事業

として、大館樹海ドームに「秋田犬」と「大館アメッコ市」をテーマとしたトリックアートを2点制作・展示し、大館市に寄贈しました。また、大館市出身・在住の画家である成田康氏の原画で一筆箋を制作し、式典等にて関係者に配布しました。原画の題材は「秋田犬」「きりたんぼ」「鳳凰山と大館樹海ドーム」です。大館市を知ってもらうためのツールとして提案したもので、近々、一般にも販売される予定です。

祝賀会のアトラクションは、六文銭のメンバーであった四角佳子さんとブレッド&バターのメンバーであった岩沢二弓さんによるミニコンサートをご覧いただきました。

ご登録いただいた皆様には心から御礼申し上げます。ありがとう御座いました。また、式典の前に記念事業を開催したために、記念事業の開始時間が遅く、閉会は午後7時近くになってしまい、遠路お越し頂いた皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

6月12日(日)秋田西RC創立20周年記念式典並びに祝賀会 開催報告

秋田西RC 会長 堀井 潤

6月12日(日)創立20周年を宮下ガバナー、平澤ガバナーエレクトをはじめ、パストガバナー、秋田市内の6ロータリークラブの会長幹事、姉妹クラブの花輪ロータリークラブの会員の方々などたくさんのお客様のご出席で祝福いただきました。

式典と銘打っていましたが、三十数名の会員で創立した当クラブも会員数は半減しており、例会の延長のようになりラックスしたものとしました。

秋田南ロータリークラブの創立15周年事業として1996年6月に創立しました当時のチャーターナイトの模様から、福祉施設での花植えや寄贈、昼竿灯会場のクリーンアップなど身近な奉仕活動の紹介、また、この創立20周年記念事業において秋田県の人口減少に歯止めをかけようと若者の定着を狙った企画(婚活パーティー)の模様など、これまでの活動の画像を流して式典をスタートさせました。

当クラブは少人数クラブでありながらも、2012年には玉木ガバナーを輩出し、翌年には花輪ロータリークラブと姉妹提携もさせていただきました。

この20周年を機に「原点に返り」、全員が例会に出席して、親睦を深めながらロータリーを学んでいきたいと願い、ご出席いただいた皆様にさらなるご指導をお願いしました。



新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

能代ロータリークラブ

宮川 孝一 Miyagawa Kouichi

職業分類/青果市場 役 職/代表取締役
勤務先/㈱能代青果地方 入会年月日/2016年6月10日
卸売市場 紹介者/村越 正道



大曲ロータリークラブ

岸 俊介 Kishi Shunsuke

職業分類/生命保険 役 職/営業所長
勤務先/明治安田生命 入会年月日/2016年5月1日
紹介者/伊藤 辰郎



大曲ロータリークラブ

佐藤 大輔 Sato Daisuke

職業分類/新聞販売業 役 職/所長
勤務先/朝日新聞サービス 入会年月日/2016年6月14日
アレカー大曲 紹介者/加賀 美奈



大曲中央ロータリークラブ

小西 誠治 Konishi Seizi

職業分類/食糧品販売 役 職/代表取締役
勤務先/㈱セイショウ 入会年月日/2016年4月1日
紹介者/小池 澄夫



PHF・MPHF・米山功労者紹介

秋田ロータリークラブ

宮下 正弘 Miyashita Masahiro

表彰分類/MPHF6回目 会 長/2005-2006年度
米山功労者3回目 ガバナー/2015-2016年度
入会年月日/1997年4月 米山功労者・ベネファクター



秋田ロータリークラブ

佐野 元彦 Sano Motohiko

表彰分類/MPHF2回目 国際奉仕委員長/2015-2016年度
入会年月日/1993年2月 クラブ奉仕委員長/2016-2017年度
米山功労者



大曲ロータリークラブ

伊藤 辰郎 Ito Tatsuro

表彰分類/米山功労者4回目 会 長/1998-1999年度
入会年月日/1987年2月



物 故 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

能代ロータリークラブ

村上 英太郎

- 1986年8月1日入会
- 2016年6月23日ご逝去(享年82歳)
- 職業分類/美術展覧
- 2013-2014年度/幹事
- MPHF



ロータリーの友 7月号

ロータリーの友7月号に2540地区の記事が掲載されております。(P.23)



わがガバナーの美学

第 2540 地区
ひらさわたか お
平澤孝夫ガバナー (秋田東RC)

よく、秋田の人は「着道楽」だと言われる。(株)平徳本店は、秋田市のアパレル業界の老舗であり、秋田の「着道楽」を牽引してきている。平澤孝夫氏はその3代目。お父上は、秋田東RCを経て、秋田中央RCの初代会長も務め、ロータリアンのDNAが脈々と受け継がれている。

ところで、コスチュームという言葉は「その時代、文化、置かれた状況に特有の服装」という意味であるが、しかし、服を着ることには、そこに個々人の固有性(好み、雰囲気)が先行条件として伴うのであり、服の選択と着こなしは、固有の自己表現でもある。

今年1月に行われたサンディエゴでの国際協議会の際、国際晩餐舞踏会で奥さまの締められた帯が「ロータリーの歯車」入りと知られるや、多くの方々からお声がかかったとお聞きしている。帯は、先代のお父上(平澤氏のお母さま)のために仕立てたものであり、それを平澤氏の奥さまが受け継いだものである。まさに、平澤家の服飾美学の伝統の象徴であり、それを奥さまが締められることでこの帯が生かされ、新しい世代の価値を創造する。

本来、服飾は流行に敏感であるが、しかし、他方において本当に良い服とは表層的な流行に動じない普遍性を備えてもいる。そう、「不易流行」という言葉には、どこか平澤氏の佇まい、風格が投影されているのだ。それは、本質を決して見失わずに、同時に時代の要請に呼応して、軽やかに変化できる人、という意味で。

秋田東RC 木村 了

職業分類-婦人服小売 1949年6月30日生。(株)平徳本店代表取締役。78年秋田東RC入会。ガバナー補佐。MPHF。米山功労者(2)。

ロータリーレート
2016年7月のレート
1ドル **102円**

facebook

地区広報委員会では、Facebookへクラブ例会
変更情報や活動内容を随時UPいたします。
ぜひ「いいね！」をお願いします。



国際ロータリー第2540地区(秋田県)
@rid2540

【寄稿のお願い】

各クラブで実施されている奉仕事業をお知らせください。寄稿スタイルは、300字以内、写真2枚程でお願い致します。※写真はメールまたは郵送にてご送付ください。

順次月信で紹介させていただきますが、多数の寄稿があった場合は翌月に掲載致します。ご了承ください。

- 寄稿先 -

◆E-mail : rid2540g16-17@clock.ocn.ne.jp

◆F A X : 018-825-0288

◆住 所 : 秋田市中通2丁目6-1
秋田ビューホテル7F

文庫通信 346号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(4)

- ◎「ロータリーにおける歴史の重要性」
平島健次郎 関西ロータリー研究会 1973 53p
- ◎「ロータリーの国際奉仕」
佐竹郁夫 旭川R.C. 1979 20p
- ◎「“ロータリー・徽章の物語”
ーロータリーの歴史の歩みと共にー」
長崎南R.C. 1980 94p
- ◎「合理化時代と職業奉仕」
西村祥三 関西ロータリー研究会 1983 24p

- ◎「ロータリーは何をしているか」
鳴海淳郎 1986 19p
- ◎「新会員のためのロータリーの歴史」
佐藤 信 1987 48p
- ◎「米山梅吉翁物語」
長泉R.C. 1989 26p
- ◎「ロータリー事始」 佐藤 信
福島南R.C. 1996 38p
- ◎「ロータリー雑学のすすめ」
長崎南R.C. 1996 86p
- ◎「ロータリーマジック」
江崎柳節 2010 197P
[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
●開館:午前10時~午後5時
●休館:土・日・祝祭日